

環境法政策レポート



CONTENTS	「環境法政策を読む」	… 1
	2016年9月26日から2016年10月24日までに公布された主な環境法令	… 4
	2016年9月26日から2016年10月24日までに公表された今後施行を予定されている主な環境法令	… 4
	2016年9月26日から2016年10月24日までの主な行政情報	… 4
	2016年9月26日から2016年10月24日までの主な裁判情報	… 8
	2016年9月26日から2016年10月24日までの主なニュース	… 9

「環境法政策を読む」自動車リサイクル評価報告書の対応状況

産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG
中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会
第44回合同会議

自動車リサイクル制度の「あるべき姿」を実現するに当たり方向性を示すためにまとめられた「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」に基づき、取組についての対応状況が報告され、重点的に議論すべき事項について議論された。再生プラスチックを活用した車種へのインセンティブについては、「自動車リサイクルに係る3Rの推進・質の向上に向けた検討会」においてまとめられた、施策の具体的な方向性について議論された。また、自動車リサイクル法の施行状況についても報告された。

□ 自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書に基づく取組のうち重点的に議論いただきたい事項

1. 3Rの推進・質の向上に向けた検討（資料3-2-②）
 - ・再生プラスチックを活用した車種へのインセンティブについて
2. ユーザー及び自動車製造業者等の両者の負担低減に向けた指定法人業務の運営に係る費用の見直し（資料3-2-⑬）
 - ・費用見直しの内容について
3. 特預金の使途に関するJARCの取組（資料3-2-⑮）
 - ・特預金の使途としての7項目の提案について
 - ・省令改正の考え方について
4. リサイクル料金の余剰部分の抛出に係る仕組みの構築（資料3-2-⑰）
 - ・余剰部分の取扱いについて

「環境法政策を読む」自動車リサイクル評価報告書の対応状況

3Rの推進・質の向上に向けた検討 資料3-2-②

合同会議報告書における提言を踏まえ、自動車リサイクルに係る3Rの推進・質の向上に向け有識者、ユーザー、関係主体等による検討会を設置し、以下の5つの検討項目について、施策の具体化に向けた検討を実施した。

- ・環境配慮設計の推進とその活用
- ・再生資源の需要と供給の拡大
- ・自動車に含まれる有害物質の削減
- ・自動車リサイクル全体の最適化を通じたリサイクルの質の向上
- ・リユース・リサイクルの推進・質の向上の進捗状況の把握・評価

<再生資源の需要と供給の拡大>に向けての取組の方向性の1つに「ユーザーインセンティブ制度の導入」が示されている。

①ユーザーインセンティブ制度の導入

再生プラスチックを活用した車種の購入時にインセンティブ（リサイクル料割引等を想定）を与えることにより、再生プラスチック利用車に対するユーザー選択及びメーカー等の取組を促し、再生資源の需要拡大を図る。

今後、検討会の下に、有識者、自動車製造業者等、ユーザー代表、再生プラスチックメーカー、自動車リサイクル促進センター等が参画する作業部会を設置し、本検討会で整理された論点を中心に実務的な制度設計を行う。

□ 平成27年度自動車リサイクル法の施行状況（概要）

（1）自動車メーカー等による再資源化等の実施状況

使用済引取台数は、例年並みで推移しており、各社とも基準を上回るリサイクル率を達成している。自動車リサイクル法の事業者登録は、年々、減少する傾向にある。

①使用済自動車引取台数 316万台（H26年度：333万台、H25年度：343万台）

②自動車メーカーの3品目の引取状況

品目	フロン類	エアバッグ類	ASR
引取報告件数	2,741,493	2,354,249	2,889,237

③再資源化状況 <リサイクル率(%)>

	シュレッダーダスト	エアバッグ類
基準	30(平成17年度～)、50(平成22年度～)、70(平成27年度～)	85
H27年度実績	96.5～98.8	93～94

（2）自動車リサイクル法の事業者登録・許可の状況（平成27年度末時点）

引取業者	フロン類回収業者	解体業者	破碎業者	合計
35,537	11,564	4,827	1,115	53,043

「環境法政策を読む」自動車リサイクル評価報告書の対応状況

(3) リサイクル料金の預託状況

預託台数が昨年に比べて新車登録時、引取時ともに減っているため、預託金額も減少している。

①平成 27 年度預託別実績

	新車登録時	引取時	合計
預託台数	4,943,816	73,975	5,017,791
預託金額(千円)	51,619,148	376,280	51,995,428

②預託台数及び預託金額残高(平成 27 年度)

預託台数(台)	預託金額残高(千円)
78,774,574	845,169,050

③輸出返還の状況(平成 27 年度)

輸出による返還台数(台)	預託返還金額(千円)
1,488,872	18,642,061

(4) 不法投棄対策、不適正保管及び離島対策の状況

①不法投棄・不適正保管実績(平成 27 年度末累計)

- ・全国の不法投棄・不適正保管車両は、5,589 台に減少(前年度末比 1637 台減)。
- ・100 台以上の大規模案件はやや減少。(6 件、1,174 台；前年度末比 530 台減)。

②離島対策の実績

- ・平成 27 年度は、87 市町村における、25,234 台の処理に対し支援を実施。
- ・平成 28 年度は、82 市町村における、24,838 台の処理への支援を計画。

□ 使用済自動車用鉛蓄電池のリサイクル(自主スキームの運用状況)

平成 24 年 7 月本格運用開始の自主スキームは、平成 28 年 3 月末登録数で排出事業者(販売店等)が 8,285 件(27 年 8,142 件)、回収事業者 96 社(27 年 95 社)、解体事業者 14 社(27 年 14 社)。

使用済自動車用鉛蓄電池リサイクルシステム運用実績

	単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
排出事業者数	件	7,511	8,094	8,285
リサイクル処理件数	件	35,685	32,203	30,911
処理量(電池)	トン	13,717	11,762	10,970
処理費用	百万円	575.2	492.7	458.2

離島からの新回収ルートの実用を開始した(対象地域は、宮古島、石垣島、西表島)。回収実績は、平成 27 年度下期より発生(石垣島：約 100 個、宮古島：約 200 個)。

■ 事業者における留意点

再生プラスチックの市場をこれから作っていくことを後押しする施策として、「再生プラスチックを活用した車種の購入時にインセンティブを与える制度の具体化に向けた検討が開始される。手数料とのバランスが取れる金額を設定し、再生プラスチックのメリットあるいはその質に対する信頼性も確保する必要がある。事業者として、国際動向も視野に入れての議論の方向性に注視していく必要がある。